

# 希望の郷拠点中期事業計画

## I. 中期目標

### 1. 利用者サービスの充実

在宅生活を継続するにあたって、地域での生活を重視したサービスの提供を行うことで自分らしくいきいきと自立した生活が送れるように支援致します。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI（重要最終目標）	目標利用者数 (定員 25 名)	2021 年度 7,700 名×0.85	6,545 名
		2022 年度 7,700 名×0.86	6,622 名
		2023 年度 7,700 名×0.87	6,699 名

### 2. 地域社会との関係性強化

地域ボランティアの受け入れや地域行事の参加、介護等の相談の受け入れをし、地域住民の多様なニーズに対応した地域に根ざした施設を目標にします。

KGI（重要最終目標）	指標の名称	算出式	指標値
	地域ボランティアの受	—	24 名

	入数		
--	----	--	--

### 3.生産性の向上

利用定員を20名から25名に引き上げ多職種連携の体制を整え、新たな加算取得をめざし、収益アップに努めます。また、人財育成による職員の業務遂行能力向上と業務の効率化を目指します。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI（重要最終目標）	人時生産性	2021年度 44,000千円÷18,088時間	2.43千円
		2022年度 44,880千円÷18,088時間	2.48千円
		2023年度 45,760千円÷18,088時間	2.53千円
	労働生産性	2021年度 44,000千円÷9.5人	4,632千円
		2022年度 44,880千円÷9.5人	4,724千円
		2023年度 45,760千円÷9.5人	4,817千円

\* 算出式：人時生産性 = 付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間 = 所定労働日数（238日）× 8H × 総職員数（常勤換算数）

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 総職員数（常勤換算数）

## II. 中期計画

### 1. サービス計画

利用定員を25名に引き上げ、利用者の拡大を図り事業規模の拡大を図ります。そして、外部コンサルティングによる科学的根拠に基づく「自立支援介護」を推し進め、介護技術の定着を図り自立支援サービスの充実・強化に努めます。

- ① 在宅での生活を維持するための機能訓練、重度化の防止
- ② 地域交流
- ③ 健康管理

KPI	1年目	2年目	3年目	KPIの内容
利用者の状態 維持改善率	70%	同左	同左	理学療法士等と連携して個別機能訓練のメニューを決め実行する。

月間入院者数の減少	4%	同左	同左	健康管理を行い、家族様・ケアマネと情報共有し異常の早期発見に努め、長期の入院を防ぐ。
事故発生件数	10件以内	同左	同左	利用者にとって安心・安全な事業所を目指す。

\* 状態維持改善率 = 延べ維持改善者数 ÷ 延べ年間利用者数

入院者数 = 年間未請求者数 ÷ 年間利用者数

延べ維持改善者数；各年度初め或いは、その年度の途中開始時における介護予防或いは

は要介護度と各年度終了時或いは、サービス終了時における介護

予防或いは要介護度と比較して、維持或いは改善している利用者

の年間累計

延べ利用者数 ; 当事業所と契約を締結している利用者数の年間累計

年間未請求者数 ; 入院により介護報酬請求を行えなかった利用者の年間累計

年間利用者数 ; 各月毎の請求明細に基づく利用者数の年間累計に年間未請求者  
数を加えたもの

## 2.収益計画

収益計画については以下のとおりとします。

(単位：百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
サービス活動収益	50	51	52
サービス活動費用	44	46	47
人件費	29	31	32
事業費	7	7	7
事務費	3	3	3
利用者負担軽減額			
減価償却費	5	5	5
国庫補助金等特別積立金取崩額			
サービス活動増減差額	6	5	5

経常増減差額	6	5	5
--------	---	---	---

・計画サービス活動収益は利用定員数を 20 名から 25 名へ増加を想定し計画しています。

・計画付加価値額 2021 年度 44.00 百万円

2022 年度 44.88 百万円

2023 年度 45.76 百万円

・計画労働分配率 2021 年度 65.9%

2022 年度 69.1%

2023 年度 69.9%

・計画人件費率 2021 年度 58.0%

2022 年度 60.8%

2023 年度 61.5%

### 3.人員計画（常勤換算数）

人員計画については以下のとおりとします。

（単位：人）

	2021 年度			2022 年度			2023 年度		
	正規	非正規	計	正規	非正規	計	正規	非正規	計
所長	0.5		0.5	0.5		0.5	0.5		0.5
生活相談員	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
看護職	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0
機能訓練指導員	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
介護職	1.5	2.0	3.5	1.5	2.0	3.5	1.5	2.0	3.5
調理員		1.5	1.5		1.5	1.5		1.5	1.5
運転手									
	5.0	4.5	9.5	5.0	4.5	9.5	5.0	4.5	9.5

・人員計画は法人の事業所別人員数計画をベースとしています。

#### 4.生産性向上計画

##### (1) 事業規模拡大計画

利用定員を20名から25名に引き上げ事業拡大を図ります・

##### (2) 稼働率向上計画

稼働率を2021年度85%、2022年度86%、2023年度87%へ向上させて

いきます。

(3) 新加算取得計画

取得加算（実績）	取得加算（計画）
入浴加算	入浴加算Ⅱ（既存）
個別機能訓練加算Ⅰ	個別機能訓練加算Ⅰロ（既存）
運動器機能向上加算	運動器機能向上加算（既存）
サービス体制提供強化加算Ⅰ	処遇改善加算Ⅰ（既存）
処遇改善加算Ⅰ	特定処遇改善加算Ⅱ（既存）
特別処遇改善加算Ⅰ	事業所評価加算（既存）
事業所評価加算(申請中)	認知症専門ケア加算Ⅰ（新規）
	サービス体制提供強化加算Ⅱ（新規）
	科学的介護推進体制加算（新規）
	生活機能向上連携加算（新規）
	口腔・栄養スクリーニング加算（新規）
	口腔機能向上加算（新規）
	ADL等維持加算（新規）
	若年性認知症入居者受入加算（新規）

	生活相談員等配置加算（新規） 中重度者ケア体制加算（新規）
--	----------------------------------

(4) 業務見直し計画

業務見直し計画	期待される成果
職員の休憩室の確保  (2023 年度実施)	休憩室を確保し、気分を切り替えることができ  仕事の効率を高めることができる。
レクリエーション IT 化  (2022 年度実施)	タブレット等を活用し レクリエーションを行うこと  で、計画書や評価等の事務の時間を作ることが  ができる。

5. 地域との関係強化計画

取組み事項	具体的内容
○ボランティアの受入れにより地域での 事業所理解を育む。	地域住民及び学生ボランティア等を受入れ、レク レーション活動や事業所の行事を通じて利用者との交流を図る。

○保育所との連携により園児の非認知的能力の育成に寄与していく。	保育所行事（園外活動）の一環として園児による事業所行事への参加等を実施する。
---------------------------------	----------------------------------------

## 6. 積立計画

3カ年の積立額は以下のとおりとします。

（単位；千円）

積立額	2021年度	2022年度	2023年度
再建設	4,800	4,800	4,800
大規模修繕	0	0	0
その他	200	200	200
計	5,000	5,000	5,000

## 7. 感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、BCPに基づくシミュレーションや訓練を実施します。

以上

# 桃源の家拠点中期事業計画

(特別養護老人ホーム桃源の家)

## I. 中期目標

### 1. 利用者サービスの充実

日常生活における介護を行う上で、入居者の能力に応じた自立支援介護を念頭に置き、自立した日常生活を営むことができることで、健康的な生活が送れるよう支援いたします。

KGI（重要最終 目標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	月平均稼働日数	年 35,770 日 ÷ 12 か月	2,980 日

### 2. 地域社会との関係性強化

地域の方々と包括的な社会形成を築いていくために、施設資源の活用やボランティアの受け入れなどを実施し、地域に理解される姿勢を強化するとともに、公益的事業の活動を積極的に実施、また活動内容を周知させていただきます。

KGI（重要最終目 標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	オレンジカフェ月の	120 人 ÷ 12 か月	10 人

	平均参加者		
--	-------	--	--

### 3. 生産性の向上

100床定員の回復と安定的な稼働率の確保、さらに新たな加算取得体制の構築により採算性アップに努めるとともに、多職種連携体制によりできる限り人員数を抑え収支の安定を図ります。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI（重要最終目標指標）	人時生産性	413,600 千円 ÷ 145,846 時間	2.84 千円
	労働生産性	413,600 千円 ÷ 76.6 人	5,399 千円

算出式：人時生産性 = 付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間 = 所定労働日数（238日）× 8H × 総職員数（常勤換算数）

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 総職員数（常勤換算数）

## II. 中期計画

## 1. サービス計画

利用定員を10床増床し事業規模の拡大を図るとともに、自立支援介護を基本とした以下のサービスの充実・強化を通じてもたらされる成果目標（利用者の生活状態の維持・改善）の達成に取り組みます。

- ① 生活支援と機能訓練の充実・強化
- ② 入浴支援の充実・強化
- ③ 排泄支援の充実・強化
- ④ 健康管理の充実・強化

上記のサービスでの成果指標は以下のとおり。

KPI	1年目	2年目	3年目	KPIの内容
機能訓練実施率	10%	同左 20%	同左 30%	生活レベルの安定を図る目的にて、1日の水分摂取量 1,000 ml以上確保者 70%を目標とし、機能訓練実施者を増やします。
入浴実施率	90%	同左	同左	個浴槽・特殊浴など

				個々の状態に合わせ、週 2 回の入浴確保を前提に取り組みます。
終日オムツ着用率	30%未満	同左	同左	日中はできる限りオムツを使用せずに過ごしていただく取り組みとして終日オムツ着用者を各ユニット 6 人未満として取り組みます。
毎月の入院日数	40 日以内	同左	同左	日々の健康チェックをこまめに行い、毎月の入院日数が 40 日未満となるように健康管理に努めます。
入院者数	年 30 名以内	同左	同左	日々の健康管理を実施するとともに、自立度を高めていくことにより

				入院者数を減少させていく。
食堂での摂食率	90%以上	同左	同左	寝食分離を原則として、食堂での摂食を促し、生活感を高めていく。
看取りケア実施率	30%	同左	同左	入院者の減少により病院での死亡を出来る限りなくし、特養としての機能を発揮していく。
事故発生件数	年5件未満	同左	同左	自立度の向上等により報告義務のある事故発生数を減少させる。

## 2. 収益計画

収益計画については以下のとおりとします。

(単位：百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
サービス活動収益	470	470	470
サービス活動費用	399	404	409
人件費	286	291	296
事業費	68	68	68
事務費	27	27	27
利用者負担軽減額	2	2	2
減価償却費	38	38	38
国庫補助金等特別積立金取崩額	22	22	22
サービス活動増減差額	71	66	61
経常増減差額	71	66	61

・計画サービス活動収益は 100 床定員の稼働率 98% で計画しています。

・計画付加価値額 413.6 百万円

・計画労働分配率 2021 年度 69.1%

2022 年度 70.4%

2023 年度 71.6%

・計画人件費率 2021 年度 60.9%

2022 年度 61.9%

2023 年度 63.0%

3. 人員計画（常勤換算数）

人員計画については以下のとおりとします。

（単位：人）

職 種	2021 年度			2022 年度			2023 年度		
	正規	非正規	計	正規	非正規	計	正規	非正規	計
施設長	0.9		0.9	0.9		0.9	0.9		0.9
副施設長	0.5		0.5	0.5		0.5	0.5		0.5
課長	2.0		2.0	2.0		2.0	2.0		2.0
介護支援専門員	2.0		2.0	2.0		2.0	2.0		2.0
生活相談員	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
介護職	31.0	17.4	48.4	31.0	18.4	49.4	31.0	18.4	49.4
看護職	3.0	2.0	5.0	3.0	2.0	5.0	3.0	2.0	5.0
リハビリ職	1.8		1.8	1.8		1.8	1.8		1.8
管理栄養士	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
栄養士	0.9		0.9	0.9		0.9	0.9		0.9
調理員	4.0	2.9	6.9	4.0	2.9	6.9	4.0	2.9	6.9

事務員		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0
環境・夜警員		4.2	4.2		4.2	4.2		4.2	4.2
嘱託医師 2 名									
計	48.1	27.5	75.6	48.1	28.5	76.6	48.1	28.5	76.6

・人員計画は法人の事業所別人員計画数をベースとしています。

\* 介護職数（非正規）には外国人技能実習生 2 名を含む。

\* 施設長はショート兼務（0.1 人分）

\* 副施設長は看護課長兼務（0.5 人分）

\* 介護課長 2 名は、現業介護職との兼務（1.0 人分）

\* 業務課長はショート生活相談員兼務（0.5 人分）

\* リハビリ職 1 名はショート兼務（0.2 人分）

\* 栄養士はショート兼務（0.1 人分）

\* 医師は嘱託医のため人員数に含めない。

#### 4. 生産性向上計画

(1) 事業規模拡大計画

2017年度からサービスの質と安全で安心な環境改善のため、定員を10床削減いたしておりましたが、2021年度から体制を整え10床回復とし、さらに新規加算取得のための取得条件整備にも取り組んでいきます。

(2) 稼働率向上計画

	2021年度	2022年度	2023年度
定員数	100人	100人	100人
稼働率	98%	98%	98%

(3) 新規加算取得

取得加算（実績）	取得加算（計画）
看護体制加算Ⅰ	看護体制加算Ⅰ（既存）
看護体制加算Ⅱ	看護体制加算Ⅱ（既存）
栄養マネジメント加算	療養食加算（既存）
療養食加算	看取り介護体制加算Ⅰ（既存）
看取り介護体制加算Ⅰ	サービス提供体制加算（既存）
サービス提供体制強化加算Ⅰ	介護職員処遇改善加算Ⅰ（既存）
介護職員処遇改善加算Ⅰ	介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ（既存）
介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ	口腔衛生管理加算（既存）
口腔衛生管理体制加算	初期加算（既存）
初期加算	外泊時・入院時加算（既存）
外泊時・入院時加算	個別機能訓練加算Ⅰ（新規）
	栄養マネジメント強化加算（新規）
	経口維持加算（新規）
	認知症専門ケア加算Ⅰ（新規）
	生活機能向上連携加算Ⅰ（新規）
	科学的介護推進体制加算Ⅰ（新規）
	ADL維持等加算Ⅰ（新規）

	<p>自立支援推進加算（新規）</p> <p>褥瘡マネジメント加算Ⅰ（新規）</p> <p>排泄支援加算Ⅰ（新規）</p> <p>日常生活継続支援加算Ⅰ（新規）</p> <p>安全対策体制加算（新規）</p> <p>夜勤配置職員加算（新規）</p> <p>若年性認知症受入加算（新規）</p> <p>精神科療養指導加算（新規）</p> <p>退所前後訪問相談援助加算（新規）</p> <p>退所前連携加算（新規）</p> <p>退所時相談支援加算（新規）</p> <p>在宅復帰支援機能加算（新規）</p> <p>在宅・入所相互利用加算（新規）</p> <p>認知症行動・心理症状緊急対応加算（新規）</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

新規加算取得により年間 2,053 千円増加を図る。

(4) 業務見直し計画

業務見直し計画	期待される成果
<p>○お掃除ロボット導入  (2022 年度実施)</p>	<p>○玄関ロビーや廊下または交流ホールなど広いスペースを主に  ロボットを活用し、環境整備員の業務負担軽減と業務に  対し適切な人員整備を行います。</p>
<p>○インカムの導入  (2022 年度実施)</p>	<p>○部署間および施設内連絡の際に手を止めることなく、スムー  ズに行うことで、業務を無駄なく効率よく実施することで生  産性を高めます。</p>
<p>○人員配置の整備  (2021 年度実施)</p>	<p>○職種間の連携・協力をより強固にし（看護師のユニット固  定化や多職種の短時間の業務支援など）必要最低限で  の人員体制の整備に努めます。</p>
<p>○介護ロボット導入  (2022 年度実施)</p>	<p>○利用者の方の安全・安心の確保と職員の業務効率化の  観点から導入を検討します。2021 年度は導入内容等につ  いて調査・研究し、導入に向けての準備を進める。</p>

## 5. 地域との関係強化計画

取り組み事項	具体的内容
<p>○ボランティアの受け入れと地域交流</p> <p>○公益事業の推進</p>	<p>○お茶会や音楽活動などのボランティア依頼や学生ボランティア等の受け入れを実施し、学生の職場体験や保育所交流等の実施も積極的に行います。</p> <p>○地域貢献を目的とした「認知症カフェ」「ひだまりサロン」事業をより充実させるための広報活動を行うことで活動内容の周知に努め、参加者の増員を図ります。</p>

## 6. 積立計画

3カ年の積立額は以下のとおりとします。

(単位：千円)

積立額	2021 年度	2022 年度	2023 年度
再建設	35,000	35,000	35,000
大規模修繕	5,000	5,000	5,000
その他	4,000	4,000	4,000
計	44,000	44,000	44,000

#### 7.感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、BCP に基づくシミュレーションや訓練を実施します。

以上

(老人短期入所事業特別養護老人ホーム桃源の家中期事業計画)

I. 中期目標

1. 利用者サービスの充実

在宅サービスを支える事業所としての役割を果たすべく、できる限り利用者の希望に沿った利用調整や急な利用についてもしっかりと対応できる環境作りと、在宅生活の延長を念頭としたサービス提供に努めます。

KGI (重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	月平均利用日数	年 2,920 日 ÷ 12 か月	243 日 (稼働率 80%)

2. 地域社会との関係性強化

圏域の他短期入所事業所と居宅介護支援事業所等との連携を密に行い、地域包括ケアシステム構築の一員として、地域課題に沿った事業展開に努めます。

KGI (重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	月平均新規利用者数	年 12 人 ÷ 12 か月	1 人

### 3. 生産性の向上

平均稼働率 80%を目標とし、定期利用者の拡大を図るとともに、居宅介護支援事業所との情報共有を通じて新規利用者の開拓に努めます。

KGI（重要最終 目標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	29, 920 千円÷15, 042 時間	2.07 千円
	労働生産性	29, 920 千円÷7.9 人	3.787 千円

算出式：人時生産性 = 付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間 = 所定労働日数（238 日）× 8H × 総職員数（常勤換  
算数）

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 総職員数（常勤換算数）

## II. 中期計画

### 1. サービス計画

在宅生活における状態の維持・改善を図るため自立支援介護を基本とした以下のサービスの充実・強化を通じてもたらされる成果結果（利用者の生活状態の維持改善）の達成に取り組めます。

- ① 生活支援と機能訓練の充実・強化
- ② 入浴支援の充実・強化
- ③ 排泄支援の充実・強化
- ④ 健康管理の充実・強化

上記のサービスでの成果指標は以下のとおり。

KPI	1年目	2年目	3年目	KPIの内容
状態維持率	100%	同左	同左	在宅生活継続支援を目的として、自立度の維持向上を図るために、機能訓練、入浴及び排泄支援を実施します。
食堂での食	90%以上	同左	同左	寝食分離を基本とし毎食の

事摂取率				食堂での摂取割合を 90%以上とします。
体調不良発生率	10%未満	同左	同左	看護師による毎日の健康チェックにて体調異常の早期発見に努め、体調悪化を防止します。

状態維持改善率 = 延べ状態維持改善者数 ÷ 延べ利用者数

体調不良発生率 = 延べ体調不良者発生数 ÷ 延べ利用者数

## 2. 収益計画

収益計画については以下のとおりとします。

(単位：百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
サービス活動収益	34	34	34
サービス活動費用	34	34	34
人件費	23	23	23
事業費	5	5	5
事務費	1	1	1
利用者負担軽減額			
減価償却費			
国庫補助金等特別積立金取崩額			
サービス活動増減増額	5	5	5
経常増減差額	5	5	5

・サービス活動収益は稼働率 80% で計画しています。

・計画付加価値額 29. 92 百万円

・計画労働分配率 76.9%

・計画人件費率 67.6%

### 3. 人員計画（常勤換算数）

人員計画については以下のとおりとします。

（単位：人）

職 種	2021 年度			2022 年度			2023 年度		
	正規	非正規	計	正規	非正規	計	正規	非正規	計
施設長	0.1		0.1	0.1		0.1	0.1		0.1
生活相談員	0.5		0.5	0.5		0.5	0.5		0.5
看護職員		0.5	0.5		0.5	0.5		0.5	0.5
介護職員	2.0	3.5	5.5	2.0	3.5	5.5	2.0	3.5	5.5
リハビリ職員	0.2		0.2	0.2		0.2	0.2		0.2
栄養士	0.1		0.1	0.1		0.1	0.1		0.1
調理員		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0
医師									
計	2.9	5.0	7.9	2.9	5.0	7.9	2.9	5	7.9

・人員計画は法人の事業所別人員数計画をベースとしています。

\* 管理者は特別養護老人ホーム桃源の家施設長が兼務（0.1 人分）

\* 生活相談員は業務課長が兼務（0.5 人分）

\* リハビリ職は特養リハビリ職が兼務（0.2 人分）

\* 栄養士は特養栄養士が兼務（0.1 人分）

\* 医師は嘱託医が兼務するため職員数に含めない。

#### 4. 生産性向上計画

##### （1）稼働率向上計画

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
定員数	10 人	10 人	10 人
稼働率	80%	80%	80%

KPI（年間 8.0 百万円増加）

##### （2）新規加算取得

取得加算（実績）	取得加算（計画）
・若年性認知症加算	・若年性認知症加算（既存）
・送迎加算	・送迎加算（既存）
・療養食加算	・療養食加算（既存）
・サービス提供体制強化加算Ⅲ	・サービス提供体制強化加算Ⅲ（既存）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員処遇改善加算Ⅰ</li> <li>・介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員処遇改善加算Ⅰ（既存）</li> <li>・介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ（既存）</li> <li>・個別機能訓練加算（新規）</li> <li>・認知症専門ケア加算（新規）</li> <li>・生活機能向上連携加算（新規）</li> <li>・夜勤職員配置加算（新規）</li> <li>・医療機関連携加算（新規）</li> <li>・看護体制加算（新規）</li> <li>・認知症行動・心理症状緊急対応加算（新規）</li> <li>・生活相談員配置加算（新規）</li> <li>・緊急短期受入加算</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以上

# 香梅苑拠点中期事業計画

## I. 中期目標

### 1. 利用者サービスの充実

前年度からの外部コンサルティングによる科学的根拠に基づく「自立支援介護」を推し進め「本計画期間」において、その介護技術の定着を図ることにより本質的な人間の尊厳を重視したサービスの充実・強化を目指します。

KGI(重要最終	指標の名称	算出式	指標値
目標指数)	月平均在籍日数	年 17,885 日 ÷ 12 か月	1490 日 (稼働率 98%)

### 2. 地域社会との関係性強化

保護施設として入居者の生きがいの高揚や社会復帰に向けての自立意欲の向上のため、地域との関係の維持、継続を図ります。また、施設が持つ専門的知識や技術などを活かすため、地域住民、ボランティア、学校、行政、医療及び福祉関係者との連携を強化し、災害時などにおける要支援者の支援ネットワークづくり等、地域に貢献できる施設を目指します。

KGI(重要最終目	指標の名称	算出式	指標値
標指数)	町内住民などの施設受	100 人 ÷ 12 × 3	四半期 25 人

	け入れ数		
	施設外活動住民など参加人数	100人÷12×3	四半期 25人

### 3.生産性の向上

介護ロボット、ICTの活用を検討しつつ、専門職としての知識及び技術の向上により、業務遂行能力を高めていきます。また、今後、職員体制を整え、加算取得による収入増を図ります。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI(重要最終目標 指数)	人時生産性	167,200千円÷51,480時間	3.25千円
	労働生産性	167,200千円÷27人	6,193千円

算出式：人時生産性 = 付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間 = 所定労働日数（238日）× 8H × 総職員数（常勤換算数）

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 総職員数（常勤換算数）

## II. 中期計画

### 1. サービス計画

保護施設機能と介護施設機能の両機能を発揮するため、「自立」をメインとして、以下のサービスの充実・強化に取り組みます。

- ① 自立支援・重度化の取り組みの推進

②ご本人の望む生活に寄り添う個別ケアの推進

上記のサービスでの成果指標は以下のとおり。

KPI	1年目	2年目	3年目	KPIの内容
入院者数（1か月以上）	年間5名以内	同左	同左	自立支援の取り組みにより年間の入院者数を減少させる。
入院日数	年間200日以内	同左	同左	自立支援の取り組みにより年間の入院者数を減少させる。
事故発生件数	年間5件以内	同左	同左	ひやりはっと件数を増やし、入院に至る事故を未然に防ぐ。
苦情、要望件数	50件以上	同左	同左	入居者からの苦情・要望を幅広く吸い上げる。
行事・レクリエーション（クラブ活動）参加率	75%	同左	同左	月平均参加の増加に 取り組み、自立を促していく。

## 2.収益計画

収益計画については以下のとおりとします。

(単位：百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度

サービス活動収益	190	190	190
サービス活動費用	153	155	156
人件費	97	99	100
事業費	32	32	32
事務費	11	11	11
利用者負担軽減額	0	0	0
減価償却費	28	28	28
国庫補助金等特別積立金取崩額	15	15	15
サービス活動増減差額	37	35	34
経常増減差額	37	35	34

・計画サービス活動収益は稼働率 98% で計画しています。

・計画付加価値額 167.2 百万円

・計画労働分配率 2021 年度 58.0%

2022 年度 59.2%

2023 年度 59.8%

・計画人件費率 2021 年度 51.1%

2022 年度 52.1%

2023 年度 52.6%

### 3.人員計画（常勤換算数）

人員計画については以下のとおりとします。

（単位：人）

職 種	2021 年度			2022 年度			2023 年度		
	正規	非正規	計	正規	非正規	計	正規	非正規	計
施設長	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
課長									
生活相談員	2.0		2.0	2.0		2.0	2.0		2.0
看護職	3.0	0.2	3.2	3.0	0.2	3.2	3.0	0.2	3.2
介護職	4.0	9.35	13.35	4.0	9.35	13.35	4.0	9.35	13.35
リハビリ職									
(管理) 栄養士		1.0	1.0		1.0	1.0	1.0		1.0
調理師	3.0	1.65	4.65	3.0	1.65	4.65	3.0	1.65	4.65
事務員	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
環境整備員		0.8	0.8		0.8	0.8		0.8	0.8
計	14.0	13.0	27.0	14.0	13.0	27.0	14.0	13.0	27.0

・人員計画は法人の事業所別人員計画数をベースとしています。

\* 養護老人ホームと特定施設との合算人員。

介護職員数（非正規）には、外国人技能実習生 1 名を含む。

#### 4.生産性向上計画

##### (1) 稼働率向上計画

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
定員数	50 人	50 人	50 人
利用率	98%	98%	98%

##### (2) 新加算取得計画

取得加算（実績）	取得加算（計画）
医療機関連携加算	医療機関連携加算（既存）
サービス体制提供強化加算Ⅲ	サービス体制提供強化加算Ⅲ（既存）
処遇改善加算Ⅰ	処遇改善加算Ⅰ（既存）
特定処遇改善加算Ⅰ	特定処遇改善加算Ⅰ（既存）
措置費、管理費加算	措置費、管理費加算（既存）
	退院・退所時連携加算（新規）
	口腔・栄養スクリーニング加算（新規）
	夜間看護体制加算（新規）
	科学的介護推進加算Ⅱ（新規）
	ADL 維持等加算（新規）

	認知症専門ケア加算（新規）
	若年性認知症入居者受入加算（新規）

(3) 業務見直し計画

業務見直し計画	期待される成果
介護ソフト付属機器導入（血圧計、SPO2）  （2021 年度実施）	記録時間の手間を省き、業務の効率化が図られる。
自動シフト表作成ソフト導入  （2022 年度実施）	作成時間の短縮により、本来の業務に時間を充てることができる。
見守り機器導入  （2022 年度実施）	職員の移動時間の短縮と安全性の確保。
掃除ロボット（レンタル）  （2021 年度実施）	食堂や交流ホールなど広いスペースに活用し、本来の業務に時間を充てることができる。
多職種連携による業務分担  （2021 年度実施）	協力体制により、最低限の職員数で業務にあたり、生産性を維持する。

5.地域との関係強化計画

取り組み事項	具体的内容
ボランティア、地域交流事業の受け入れ強化	学校、福祉施設、公民館サークル、ボランティアセンターなどへ依頼し、見学、実習、交流会などを実施
施設、備品の有効活用	サークルの発表の機会に使用していただく。 音楽機材、レクリエーション道具などの貸し出し
公益事業の推進	介護者家族の会、運動教室、認知症教室などの活動地域を拡大する。
災害時などの協力支援体制づくり	自治会、役場などとの協議

## 6.積立計画

3カ年の積立額は以下の通りとします。

(単位：千円)

積立額	2021年度	2022年度	2023年度
再建設	22,810	22,810	22,810
大規模修繕	0	0	0
その他	5,190	5,190	5,190
計	28,000	28,000	28,000

## 7. 感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、BCP に基づくシミュレーションや訓練を実施します。

以上

## いわみ西・東・日貫保育所拠点中期事業計画

### ≪保育理念≫

- ◎ 保育に欠けるすべての子どもにとって、最もふさわしい生活の場を保障し愛護すると共に、最善の利益を守り、保護者や地域と力を合わせ共にその福祉を積極的に増進します。
- ◎ 集団生活の中で一人ひとりの能力を最大限に発揮できるよう、豊かな人間性を持った子どもを育成します。子育て負担感の緩和を図り安心して子育て・子育てができるよう保護者への支援をし、合わせて地域における家庭支援も行います。
- ◎ 児童福祉の推進を図るために、職員は豊かな愛情を持って接し、児童の処遇向上のため、知識の修得と技術の向上に努めます。又、家庭支援の為に常に社会性と良識に磨きをかけ、相互に啓発を行います。

### ≪保育方針≫

○一人ひとりの子どもの育ちを支えます

(現在をもっともよく生き望ましい力の基礎を培います)

○保護者の子育てを支えます

(保護者の意向を受け止め子どもと保護者の安定した関係に配慮し援助します)

○子どもと子育てにやさしい地域を作ります

(地域とのふれあいや連携を図ります)

## ≪保育目標≫

～心豊かにたくましく生きる子ども～

- ・いきいき遊び、やる気とやりぬく気力のある子ども
- ・人の話をよく聞き、自分の思いを伝えられる子ども
- ・思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども

## I. 中期目標

### 1. 利用者サービスの充実

平成30年度より施行された保育所保育指針に基づいて保育を行ってまいります。これまでの「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の各領域に沿って、発達に応じたかかわりを

行い、養護と教育を一体的に展開し、保育士が子どもを一人の人間として尊重し、深く愛し、守り、支えていきたいと思えます。また、指針に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をめざし、認知的能力だけでなく非認知的能力を高めるために「知識及び技能の獲得」「思考力、判断力表現力などの基礎」「学びに向かう力、人間等」を育むことを目標とします。

地域子育て支援センターにおいては、子育て家族の育児不安や孤独感を軽減し、子育ての楽しさや成長の喜びを感じることができるよう支援します。

KGI（重要最終目標）	指標の名称	算出式	指標値
指標）	非認知的能力の育成	—	—

非認知的能力は人格形成に係るものであり認知的能力とは違い本来数値化し 難い能力であり、日常の保育を通じて育まれるものです。つまり、日常の保育環境（職員の園児への接し方や保育所の物理的環境等）が影響することになります。このため、目標値は設けません。

## 2. 地域社会との関係性強化

地域に育まれる保育所として、地域の方々との交流を進め、保育所でなければ体験できない貴重な経験の場を子どもたちに提供していきます。

KGI（重要最終目標）	指標の名称	算出式	指標値
	地域社会との関係性強化	—	—

標指標)			
------	--	--	--

### 3. 生産性の向上

今後子ども数の減少等を見据えると、職員数を増やさないなかで、より良い保育を実施していくためには、業務効率をあげていくことが必要となってきます。つまり、直接的な保育業務の時間を十分確保するなかで、間接的業務の時間を減らすことを目指します。

#### ①いわみ西保育所拠点

KGI（重要最終目標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	105,600 千円 ÷ 45,696 時間	2.31 千円
	労働生産性	105,600 千円 ÷ 24 人	4,400 千円

#### ②東保育所拠点

KGI（重要最終目標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	81,840 千円 ÷ 41,888 時間	1.95 千円
	労働生産性	81,840 千円 ÷ 22 人	3,720 千円

#### ③日貫保育所拠点

KGI（重要最終目標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	33,440 千円 ÷ 15,232 時間	2.20 千円
	労働生産性	33,440 千円 ÷ 8 人	4,180 千円

算出式：人時生産性 = 付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間 = 所定労働日数 (238 日 × 8H × 総職員数 (常勤換  
算数)

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 総職員数 (常勤換算数)

## Ⅱ. 中期計画

### 1. サービス計画

今後 3 カ年で特に重点として取組む保育サービスは以下のとおりとします。

- ①心の安定に繋がる保育の実施
- ② 遊びを学びに繋げる保育の実施
- ③ 地域と繋がる保育の実施
- ④ 食育の実施

⑤ 保護者の子育て支援（地域子育て支援センター含む）

2. 収益計画

収益計画については以下のとおりとします。

①いわみ西保育所拠点

（単位:百万円）

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
サービス活動収益	120	120	120
サービス活動費用	108	109	110
人件費	82	83	84
事業費	15	15	15
事務費	8	8	8
利用者負担軽減額			
減価償却費	10	10	10
国庫補助金等特別積立金取崩額	7	7	7
サービス活動増減差額	12	11	10
経常増減差額	12	11	10

・サービス活動収益は3カ年の園児数を105名程度として計画しています。

・計画付加価値額 105.6 百万円

・計画労働分配率 2021 年度 77.7%

2022 年度 78.6%

2023 年度 79.5%

・計画人件費率 2021 年度 68.3%

2022 年度 69.2%

2023 年度 70.0%

②東保育所拠点

(単位:百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
サービス活動収益	93	93	93
サービス活動費用	82	82	83
人件費	65	65	66
事業費	10	10	10
事務費	6	6	6
利用者負担軽減額			
減価償却費	10	10	10

国庫補助金等特別積立金取崩額	9	9	9
サービス活動増減差額	11	11	10
経常増減差額	11	11	10

・サービス活動収益は過年度実績並みを計画しています。

・計画付加価値額 81.84 百万円

・計画労働分配率 2021 年度 79.4%

2022 年度 79.4%

2023 年度 80.6%

・計画人件費率 2021 年度 69.9%

2022 年度 69.9%

2023 年度 71.0%

### ③日貫保育所拠点

(単位:百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
サービス活動収益	38	38	38
サービス活動費用	31	31	31
人件費	24	24	24
事業費	5	5	5

事務費	2	2	2
利用者負担軽減額			
減価償却費	1	1	1
国庫補助金等特別積立金取崩額	1	1	1
サービス活動増減差額	7	7	7
経常増減差額	7	7	7

・サービス活動収益は過年度実績並みを計画しています。

・計画付加価値額 33.44 百万円

・計画労働分配率 2021 年度、2022 年度、2023 年度 71.8%

・計画人件費率 2021 年度、2022 年度、2023 年度 63.2%

### 3. 人員計画（常勤換算数）

人員計画については以下のとおりとします。

#### ①いわみ西保育所

（単位：人）

	2021 年度			2022 年度			2023 年度		
	正 規	非正規	計	正 規	非正規	計	正 規	非正規	計
所長	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
主任保育士	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0

保育士	12.0	3.0	15.0	12.0	3.0	15.0	12.0	3.0	15.0
子育て支援員		2.0	2.0		2.0	2.0		2.0	2.0
栄養士	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
調理員		2.2	2.2		2.2	2.2		2.2	2.2
看護師		1.4	1.4		1.4	1.4		1.4	1.4
清掃員		0.4	0.4		0.4	0.4		0.4	0.4
計	15.0	9.0	24.0	15.0	9.0	24.0	15.0	9.0	24.0

②東保育所拠点

(単位：人)

	2021年度			2022年度			2023年度		
	正規	非正規	計	正規	非正規	計	正規	非正規	計
所長	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
主任保育士	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
保育士	5.0	9.2	14.2	5.0	9.2	14.2	5.0	9.2	14.2
子育て支援員		1.0	1.0		1	1.0		1.0	1.0
保育補助		2.1	2.1		2	2.1		2.1	2.1
調理員	1.0	1.4	2.4	1.0	1.4	2.4	1.0	1.4	2.4
掃除員		0.3	0.3		0.3	0.3		0.3	0.3

計	8	14.0	22.0	8.0	14	22.0	9.0	14.0	22.0
---	---	------	------	-----	----	------	-----	------	------

③日貫保育所

(単位：人)

	2021年度			2022年度			2023年度		
	正 規	非正規	計	正 規	非正規	計	正 規	非正規	計
所長	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
主任保育士									
保育士	2.0	3.9	5.9	2.0	3.9	5.9	2.0	3.9	5.9
保育補助		0.1	0.1		0.1	0.1		0.1	0.1
調理師		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0
計	3.0	5.0	8.0	3.0	5	8.0	3.0	5.0	8.0

・人員計画は法人の事業所別人員数計画をベースとしています。

4. 生産性向上計画

(1) 業務改善計画

業務効率改善の一環として I C T 化を進めていき、間接業務の時間短縮に 取り組み  
ます。

業務見直し計画	期待される成果
業務の I C T 化（登降園管理、保護者からの出 欠連絡、連絡帳の記載、保護者連絡等） （2021 年度実施）	職員数の削減 休憩時間の確保 保育業務量増加（直接園児に対 応する時間の増加） 残業の減少

## 5. 地域との関係強化計画

### ①ボランティアによる園内外活動の実施

地域とのつながりを広げるため、地域住民の方たちとの夏野菜の畑作り・

干し柿、干し芋作りなどを実施します。

## 6. 積立計画

3 年間の積立額を以下のとおりとします。

### ①いわみ西保育所拠点

（単位：千

円）

積立額	2021 年度	2022 年度	2023 年度

再建設	9,000	9,000	9,000
大規模修繕	1,400	1,400	1,400
その他	1,000	1,000	1,000
計	11,400	11,400	11,400

②東保育所拠点

(単位 :

千円)

積立額	2021年度	2022年度	2023年度
再建設	9,000	9,000	9,000
大規模修繕	1,400	1,400	1,400
その他	1,000	1,000	1,000
計	11,400	11,400	11,400

③日貫保育所拠点

(単位 :

千円)

積立額	2021年度	2022年度	2023年度
再建設	0	0	0
大規模修繕	0	0	0
その他	1,400	1,400	1,400
計	1,400	1,400	1,400

7. 感染症・災害への対応力強化計画

新型コロナウイルス感染症等や豪雨災害等への対応を図るため、通常の防災、避難

訓練のほか、BCPに基づいた業務継続のシミュレーション及びその訓練を実施します。

以上